

2023年度 第2四半期

決算資料

2023年11月10日

株式会社 TBS ホールディングス

2023年度 第2四半期決算ハイライト

2023年度 業績見通し

株主還元

経営計画の進捗

今後の重点施策

参考資料

本資料に記載されている将来の当社業績に関する見通しほか全ての内容は、本資料作成時点の当社の判断に基づくものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経済情勢、市場動向、経営環境などの変化により、記載事項と異なる可能性があることに十分ご留意下さい。また、本資料の無断転載はお断りいたします。

◇お問い合わせ先
〒107-8006

東京都港区赤坂5丁目3番6号 株式会社TBSホールディングス 社長室 広報・IR部
Tel : 03-3746-1111 (代表) HP : <https://www.tbsholdings.co.jp/ir/>

2023年度 第2四半期決算ハイライト

2023年度 業績見通し

株主還元

経営計画の進捗

今後の重点施策

参考資料

2023年度 第2四半期決算

- ▶ 連結全体では、増収、営業減益、経常減益。
親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益の前期との規模差で増益。
第2四半期累計では、過去最高売上高を更新。
- ▶ メディア・コンテンツ事業は、TBSテレビのスポット収入が減収となったものの、配信広告収入や有料配信収入が大幅に伸長。また、事業部門での映画の大ヒットや、TBSグローディア・TCエンタテインメントのDVD販売が大幅に増加し、増収。
一方で、放送収入の減収に加え、番組制作費の増加により、減益。
- ▶ ライフスタイル事業は、やる気スイッチグループHDの新規連結を行い、売上高・利益ともに増加。スタイリングライフグループにおいては、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う社会・経済活動の正常化、および、猛暑に対応した商材が伸長し、増収増益。
ライフスタイル事業トータルでも増収増益。
- ▶ 不動産その他事業は、賃料収入の増加などにより増収増益。

2023年度 通期業績予想の修正とコーポレートアクション

- ▶ 売上高は、TBSテレビでのスポット市況低迷による放送収入の下振れを、やる気スイッチグループHDの新規連結などでカバーし、前回発表予想とほぼ同水準となる見込み。
- ▶ 営業利益、経常利益は、放送収入の減収などの影響で、下方修正。
- ▶ 親会社株主に帰属する当期純利益は、政策保有株式の売却による特別利益の計上で、上方修正。
- ▶ 配当予想は変更なし。
- ▶ 株主還元および資本効率の向上を図るため、自己株式を取得。

第2四半期 連結損益計算書

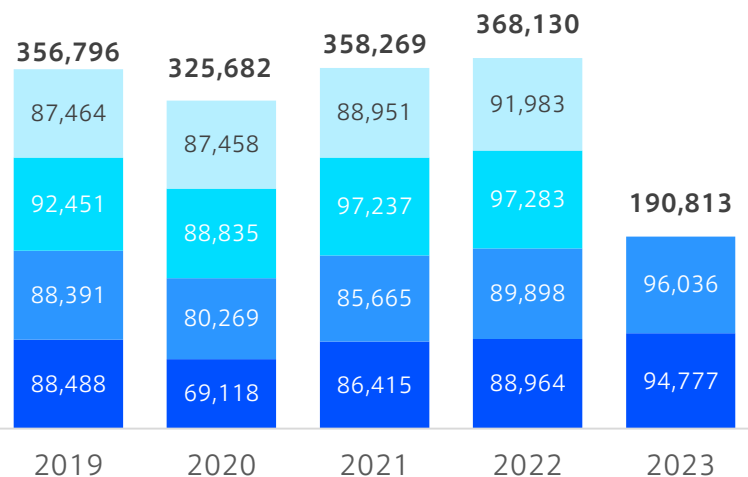
▶ 連結全体では、増収、営業減益、経常減益。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益の前期との規模差で増益。

(単位：百万円)

連結	2022年度 2Q (4-9月)	2023年度 2Q (4-9月)	前年差	増減率
売上高	178,863	190,813	+11,949	+6.7%
営業利益	10,106	8,743	△1,363	△13.5%
経常利益	17,034	16,257	△777	△4.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	9,191	9,832	+641	+7.0%

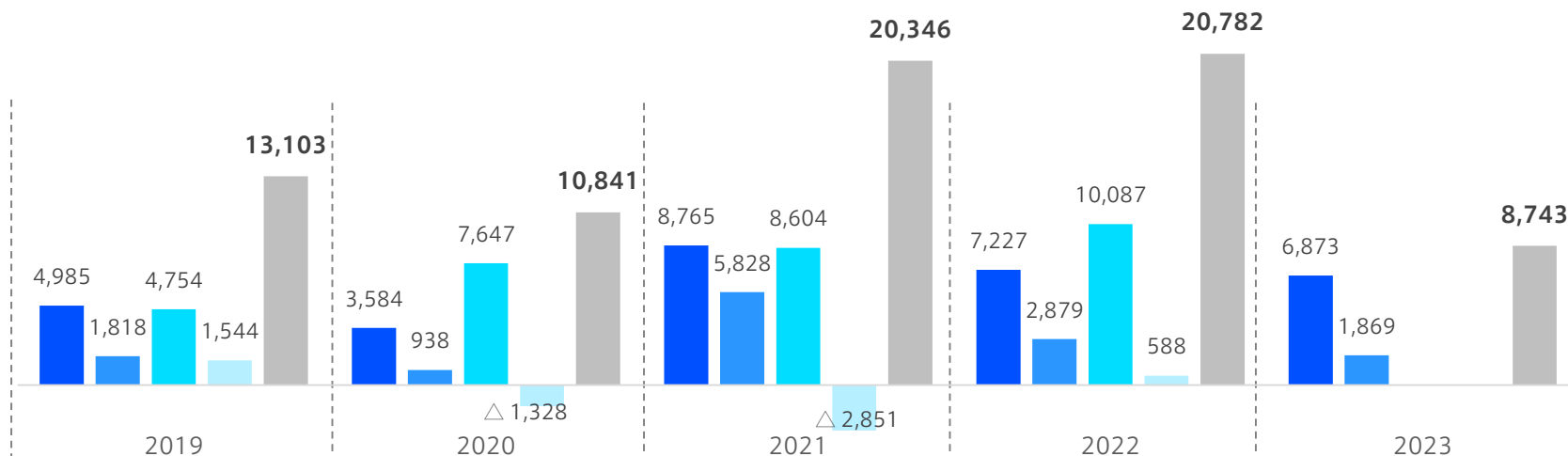
売上高

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q



営業利益

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q ■ 合計



(単位：百万円)

	外部売上				営業利益			
	2022年度 2Q (4-9月)	2023年度 2Q (4-9月)	前年差	増減率	2022年度 2Q (4-9月)	2023年度 2Q (4-9月)	前年差	増減率
メディア・コンテンツ	138,201	141,370	+3,168	+2.3%	4,339	1,860	△2,479	△57.1%
ライフスタイル	32,506	41,109	+8,602	+26.5%	2,008	2,714	+705	+35.1%
不動産・その他	8,154	8,333	+178	+2.2%	3,750	4,165	+414	+11.1%
調整額	—	—	—	—	8	3	△4	—
連結	178,863	190,813	+11,949	+6.7%	10,106	8,743	△1,363	△13.5%

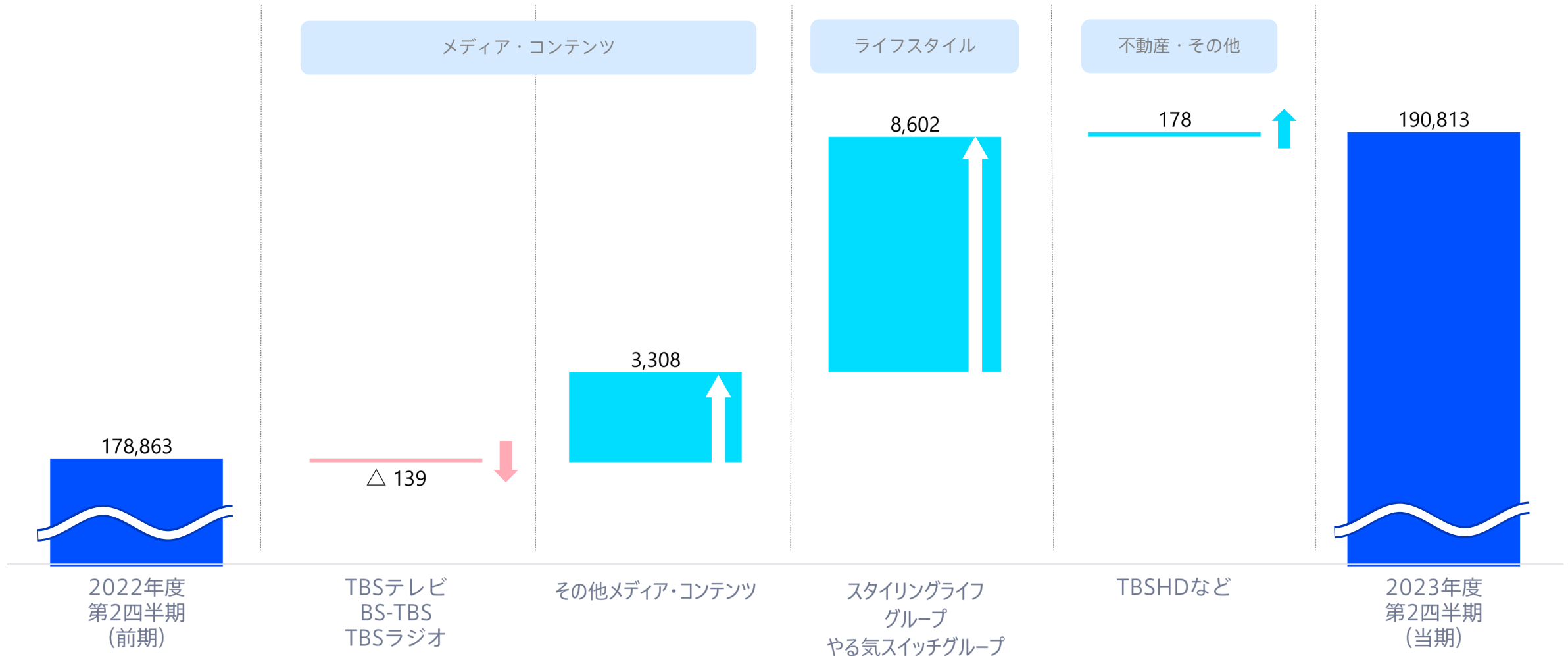
増減要因	外部売上	営業利益
メディア・コンテンツ	TBSグロウディア (+1,621) TCエンタテインメント (+897) CS-TBS (+704) TBSテレビ (+210) TBSラジオ (△270)	TBSグロウディア (+815) TBS HD (+500) TCエンタテインメント (+273) TBSラジオ (△231) TBSテレビ (△3,348)
ライフスタイル	やる気スイッチグループ (+6,093) スタイリングライフグループ (+2,509)	スタイリングライフグループ (+260) やる気スイッチグループ (+203)
不動産・その他	TBSテレビ (+320) 緑山スタジオ・シティ (△400) TBS HD (+282)	TBS HD (+509)

連結セグメント別 売上高（外部売上）の増減要因

▶ メディア・コンテンツ事業は、TBSテレビのスポット収入が減収となったものの、配信広告収入や有料配信収入が大幅に伸長。また、TBSグロウディア・TCエンタテインメントのDVD販売が大幅に増加し、増収。ライフスタイル事業は、やる気スイッチグループの新規連結による増収に加え、スタイリングライフグループは社会・経済活動の正常化で好調に推移し、増収。不動産その他事業も、賃料収入の増加などにより増収。連結全体でも増収。

■ 売上実績 ■ 増加分 ■ 減少分

(単位：百万円)

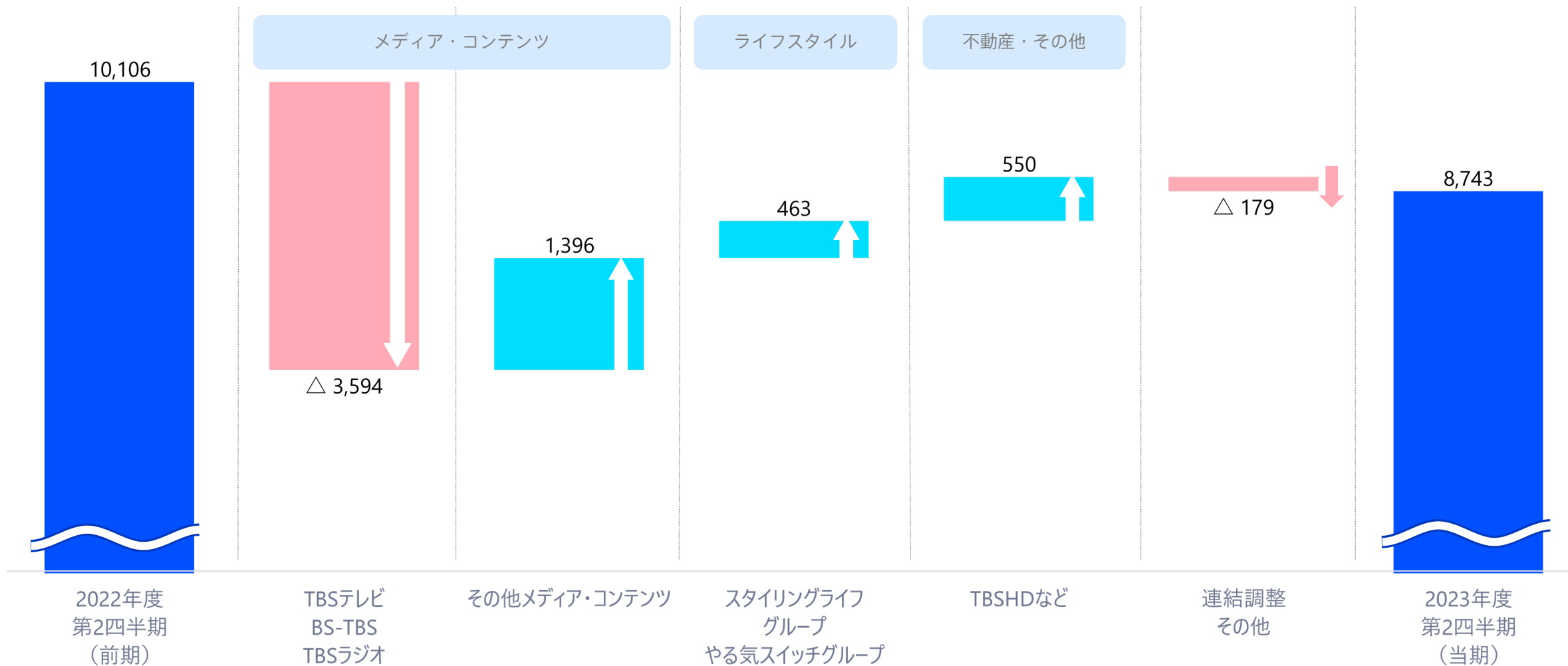


連結セグメント別 営業利益の増減要因

▶ メディア・コンテンツ事業は、放送収入が減少する中、番組制作費が増加し、減益。
 ライフスタイル事業は、やる気スイッチグループの新規連結に伴う増益に加え、スタイリングライフグループが社会・経済活動の正常化で好調に推移し、増益。不動産その他事業は、賃料増加などで増益。連結全体では減益。

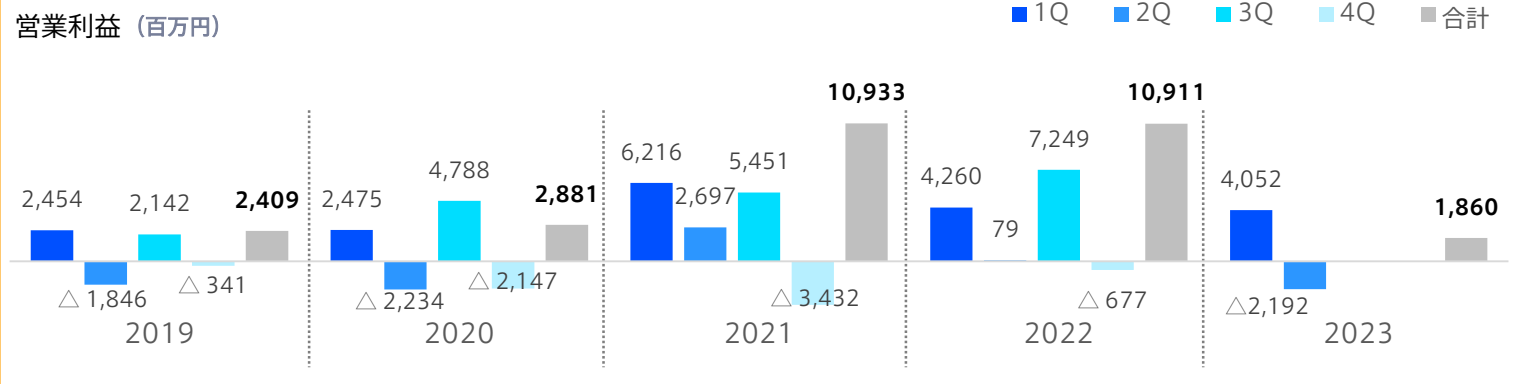
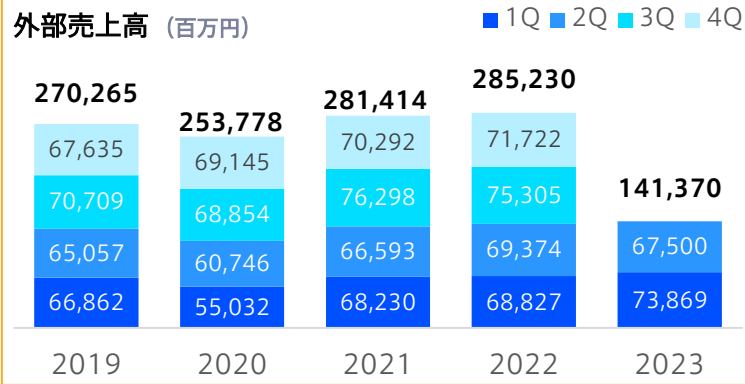
■ 営業利益 ■ 増加分 ■ 減少分

(単位：百万円)

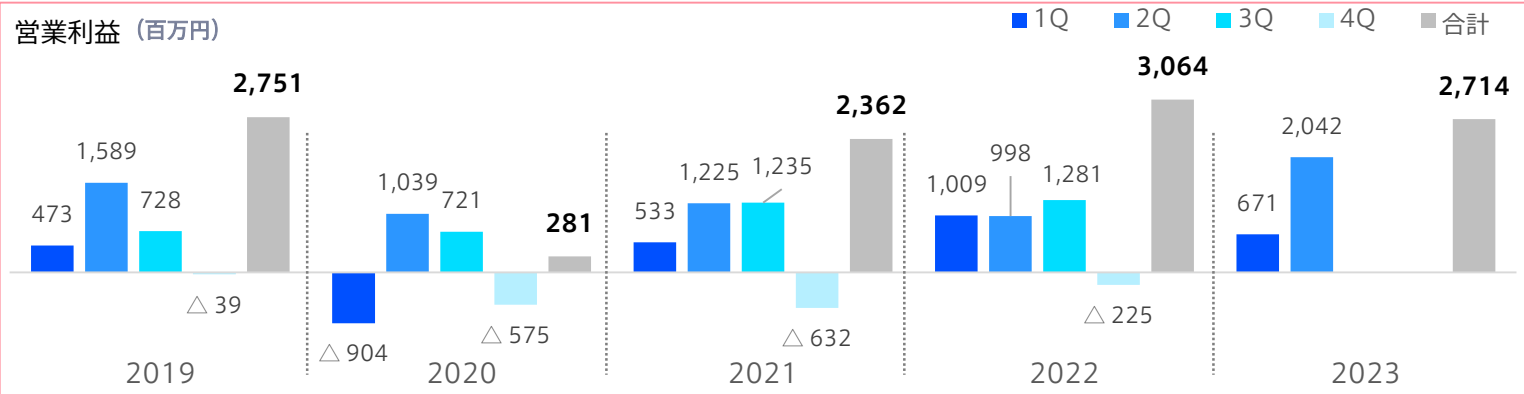
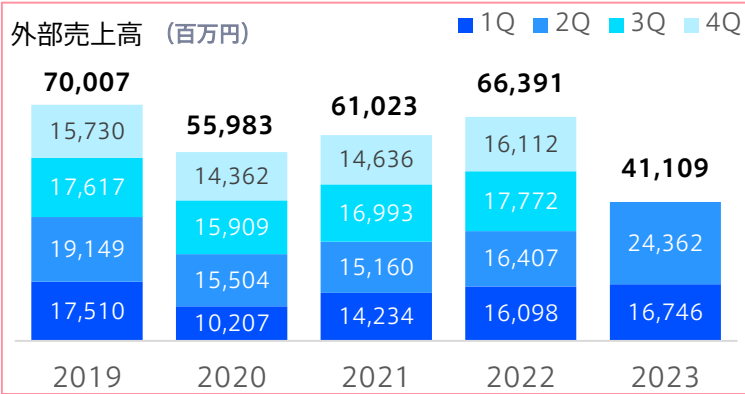


連結セグメント別 経年推移

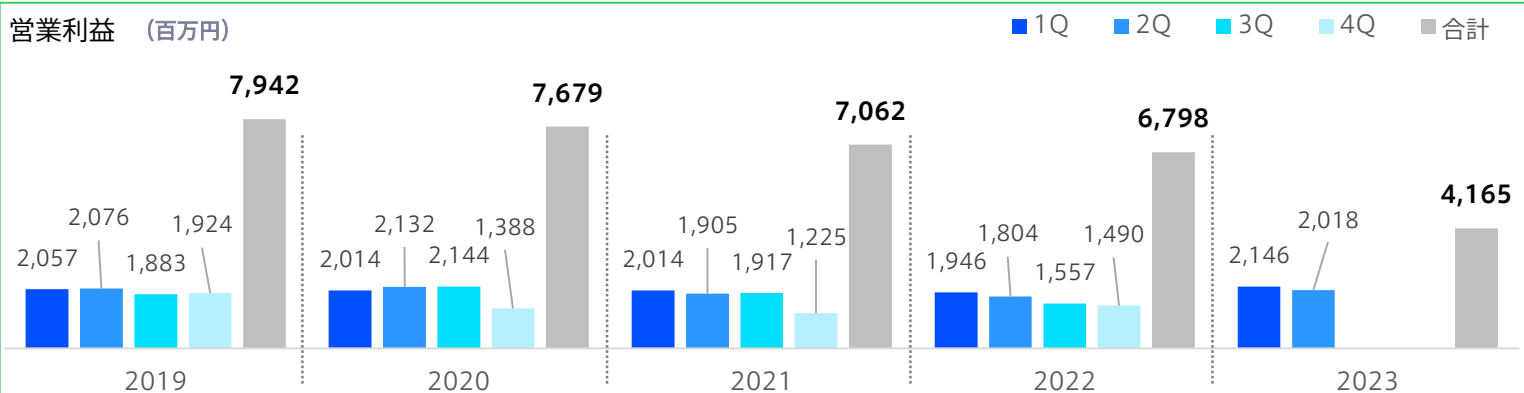
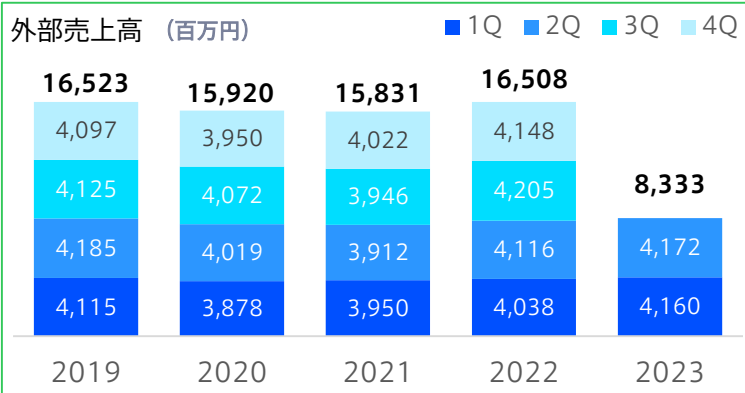
メディア
コンテンツ



ライフ
スタイル



不動産
その他

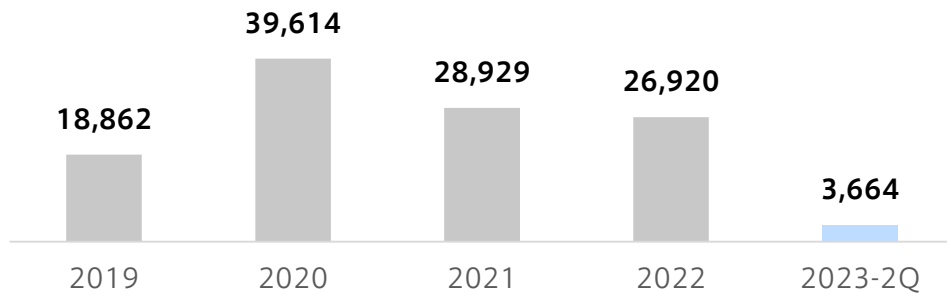


設備投資と減価償却費

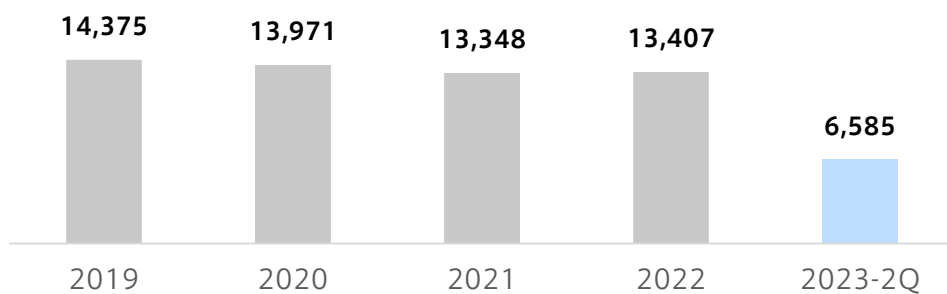
単位：百万円

連結	2023年度 2Q(4-9月)	前年差
設備投資	3,664	△13,256
減価償却費	6,585	△81

連結設備投資



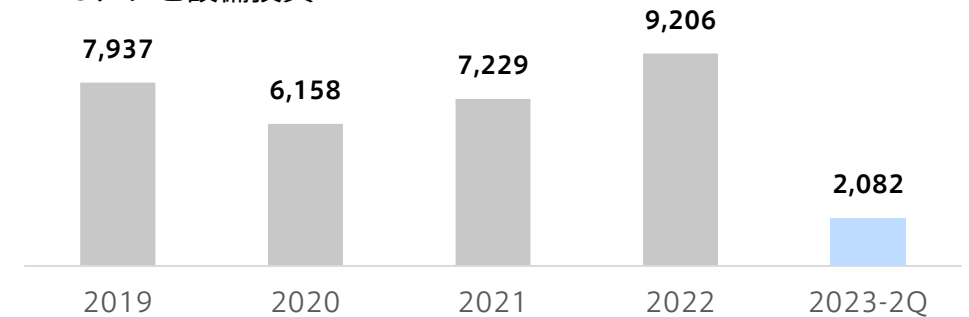
連結減価償却費



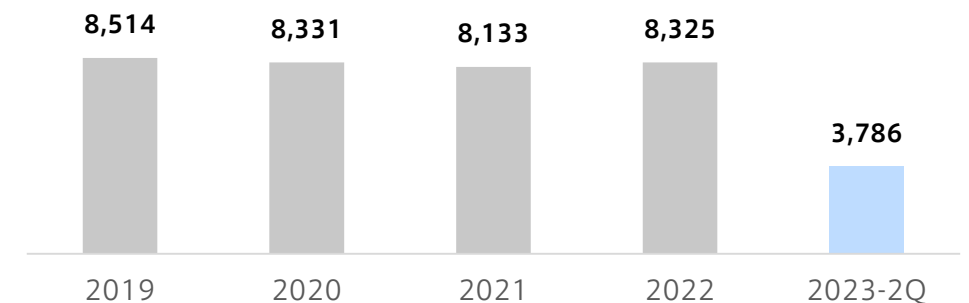
単位：百万円

TBSテレビ	2023年度 2Q(4-9月)	前年差
設備投資	2,082	△4,087
減価償却費	3,786	△308

TBSテレビ設備投資



TBSテレビ減価償却費



テレビ部門では、スポット収入が大幅な減収となったものの、タイムの増収と、配信広告収入や有料配信収入が大幅に伸長したことに加え、メディア事業（CS事業）の移管により、増収。事業部門では、舞台『ハリー・ポッターと呪いの子』の公演日数の増加、劇場版『TOKYO MER ~走る緊急救命室~』の大ヒット、放送関連のグッズやDVD販売の好調があったものの、メディア事業（CS事業）のテレビ部門への移管で減収。トータルで増収。営業利益は、番組制作費の増加などにより減益。経常利益以下も減益。

(単位：百万円)

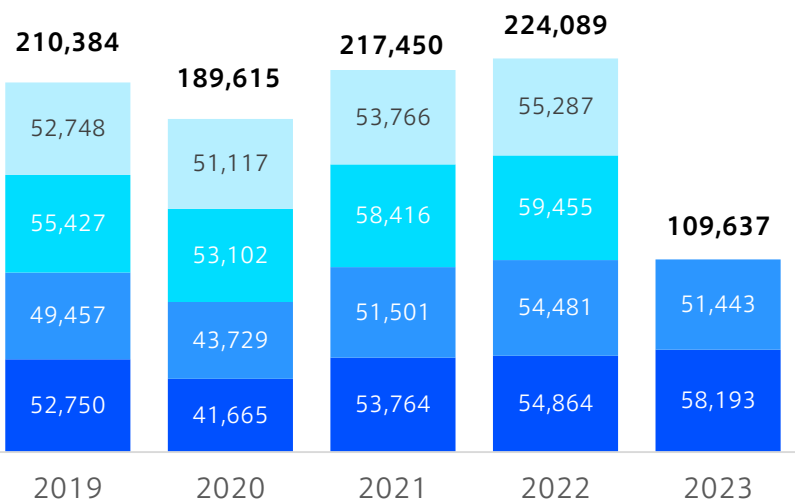
TBSテレビ	2022年度 2Q (4-9月)	2023年度 2Q (4-9月)	前年差	増減率
売上高	109,346	109,637	+291	+0.3%
営業利益	6,024	2,592	△3,431	△57.0%
経常利益	7,423	4,041	△3,382	△45.6%
四半期純利益	5,219	3,437	△1,782	△34.1%

営業費用など

■ 番組原価	+2,431
■ 代理店手数料	△767 (当期14,150)
■ ネットワーク費	+313
■ 事業部門営業費用	△3,007
■ 特別利益 (投資有価証券売却益)	4,478
■ 特別損失 (退職給付費用, 固定資産撤去費用, 投資有価証券評価損)	3,333

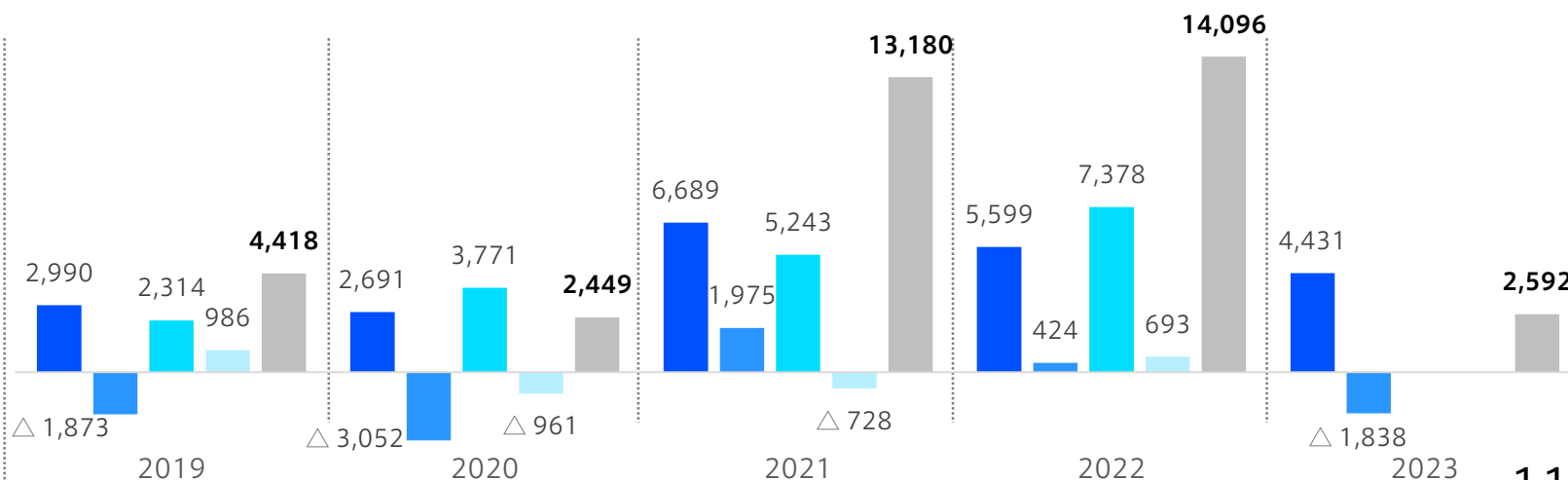
売上高

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q



営業利益

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q ■ 合計



	2023年度 2Q (4-9月)	前年差
テレビ	96,245	+3,089
－ タイム	40,559	+449
－ スポット	36,206	△3,559
－ 配信広告	3,299	+911
－ 有料配信	6,617	+3,193
－ その他	9,562	+2,094
事業	12,198	△2,480
不動産	1,193	△318
収入合計	109,637	+291

単位：百万円

注1 前第2四半期においてその他区分で開示していた収入のうち、当第2四半期においては有料配信を別掲したうえで、有料配信以外をその他区分で集計しております。なお、前第2四半期について当該変更による組替を行ったうえで前年差を算出しております。

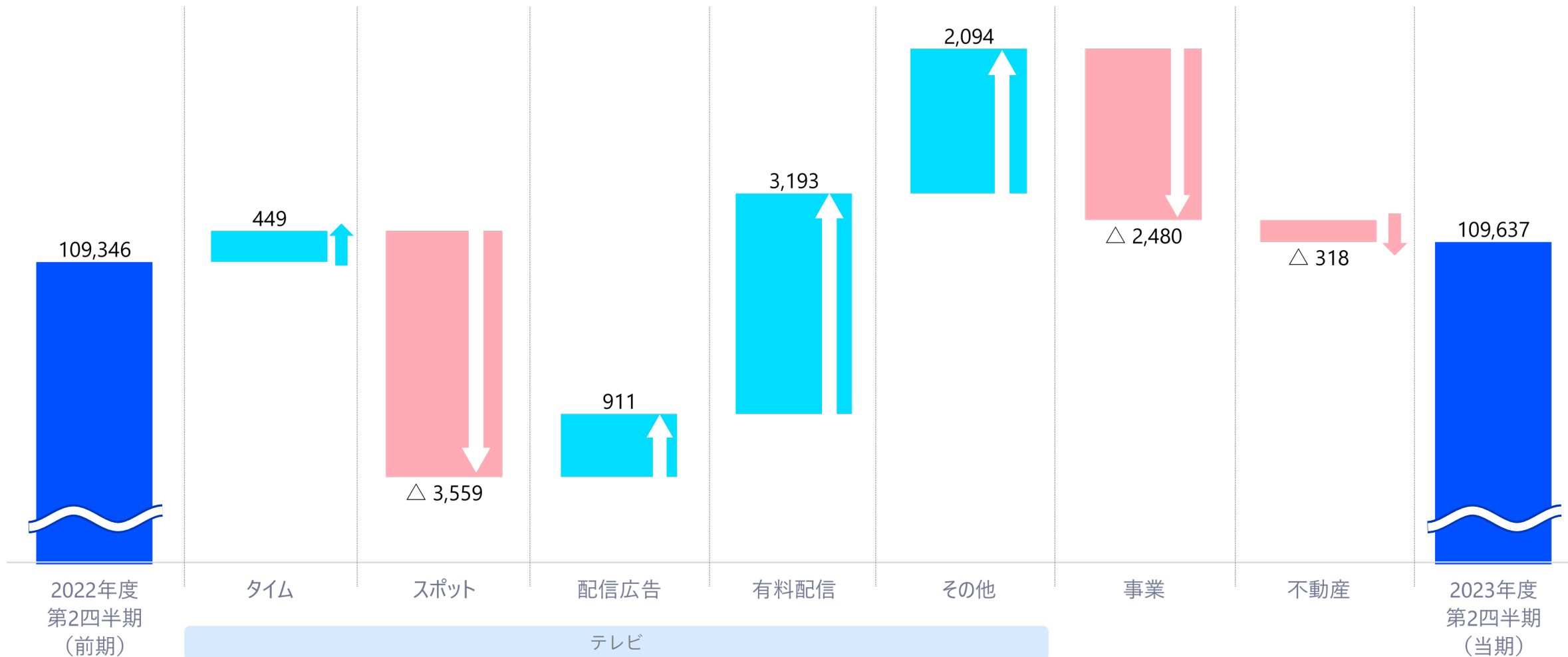
注2 前第2四半期において事業部門に含めていたメディア事業（CS事業）にかかる収入の一部について、当第2四半期よりテレビ部門のその他区分で集計しております。なお、前第2四半期について当該変更による組替は行わずに前年差を算出しております。



▶ テレビ部門では、スポット収入が大幅な減収となったものの、タイムの増収と、配信広告収入や有料配信収入が大幅に伸長したことに加え、メディア事業（CS事業）の移管により、増収。事業部門では、舞台『ハリー・ポッターと呪いの子』のロングラン上演、劇場版『TOKYO MER ~走る緊急救命室~』の大ヒット、放送関連のグッズやDVD販売の好調があったものの、メディア事業（CS事業）のテレビ部門への移管で減収。トータルで増収。

■ 売上実績 ■ 増加分 ■ 減少分

(単位：百万円)



テレビ番組原価（制作費）

▶ ドラマ・バラエティなどのコンテンツ強化および、アジア大会をはじめとした大型スポーツ単発などにより増加。
通期も期首予想（※）より増加。

（※）期首予想 97,400百万円

（単位：百万円）

	2022年度実績	2023年度実績	前年差
第1四半期	23,218	24,255	+1,036
第2四半期	23,715	25,109	+1,394
（地上波直接費）	18,658	20,057	+1,398
（その他直接費及び間接費）	5,056	5,051	△4
上期	46,933	49,365	+2,431
第3四半期	24,357	—	—
第4四半期	23,945	—	—
通期累計	95,236	98,000	+2,763
（地上波直接費）	74,510	77,480	+2,969
（その他直接費及び間接費）	20,726	20,520	△206

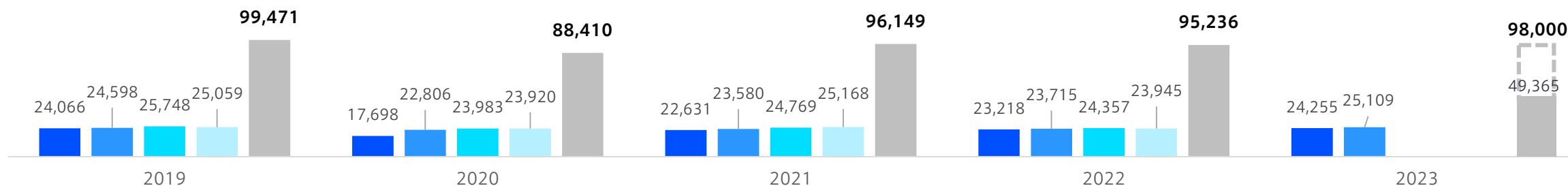
テレビ番組原価に含まれる主な費用

地上波直接費：
番組制作費、放送権料、美術制作費、技術制作費

その他直接費および間接費：
地上波以外の直接費、
減価償却費・社員人件費などの配賦原価

※点線内の通期累計および内訳は、すべて見込みです。

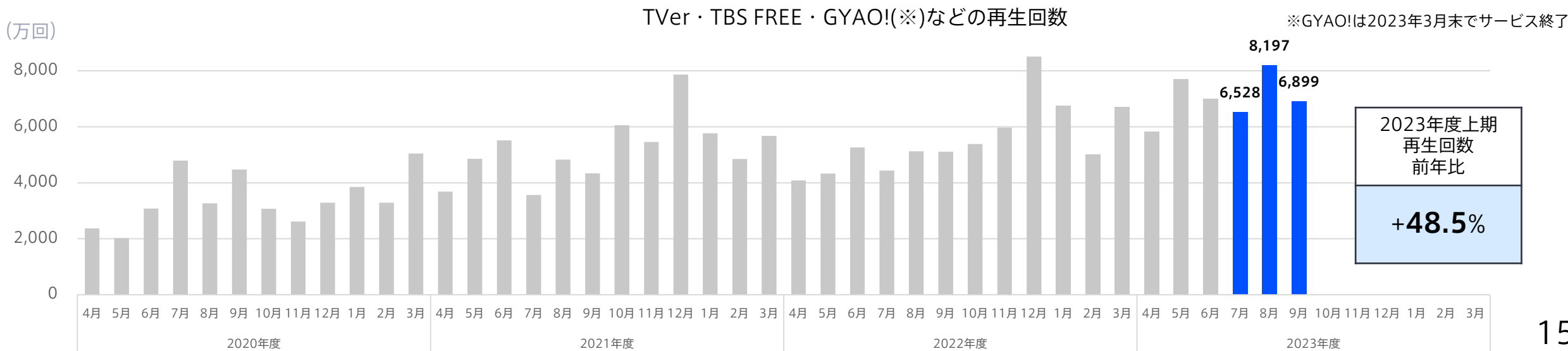
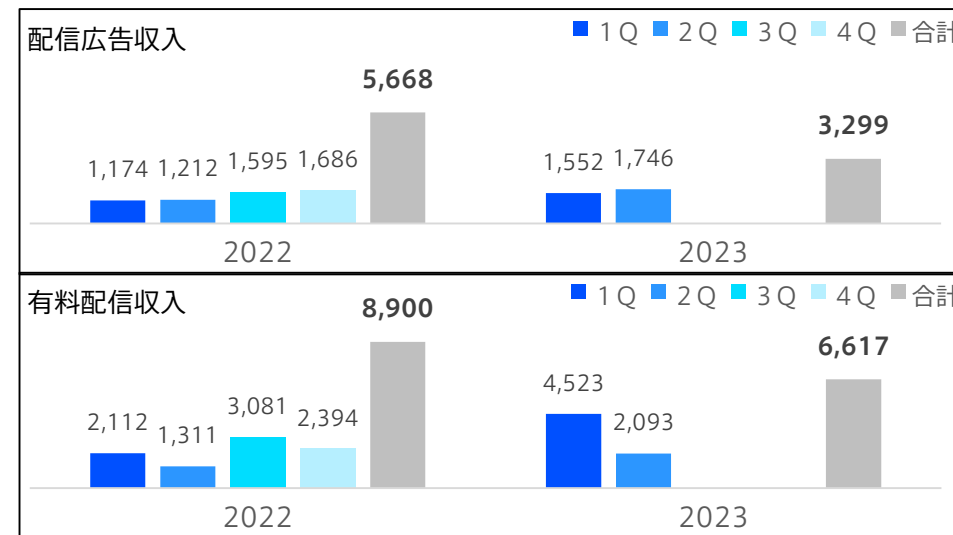
■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q ■ 合計



▶ 配信広告収入は、ドラマやバラエティの好調な配信回数を背景に増収。
 有料配信収入は、海外配信（Amazon Original「風雲！たけし城」やNetflixシリーズ「離婚しようよ」など）に加え、U-NEXTでの国内有料配信が好調で増収。

(単位：百万円)

	2022年度 2Q (4-9月)	2023年度 2Q (4-9月)	前年差	増減率
配信広告収入	2,387	3,299	+911	+38.2%
有料配信収入	3,424	6,617	+3,193	+93.2%



(単位：百万円)

部 門	売上高		粗利益		主な増減要因
	2023年度 2Q (4-9月)	前年差	2023年度 2Q (4-9月)	前年差	
アニメ	530	△599	303	△189	前年好調であった映画「五等分の花嫁」、 「プラチナエンド」の反動で、減収減益。
映画	2,013	+905	943	+417	劇場版『TOKYO MER ~走る緊急救命室~』の大ヒットにより、 増収増益。
ライブエンタテインメント (旧：催事・興行)	4,981	△805	815	+500	前年の「パリ・サン=ジェルマン ジャパンツアー2022」の反動で 減収したものの、舞台『ハリー・ポッターと呪いの子』の公演日数 の増加で、増益。7月より展覧会事業をTBSグローディアに移管。
コンテンツビジネス (旧：マーチャンダイジングセンター)	1,072	+232	789	+272	DVD「クロサギ」「君の花になる」の大ヒットに加え、 番組商品化も好調で、増収増益。 なお、7月より一部をTBSグローディアに移管。
グローバルビジネス	1,193	△392	645	△263	Amazon Original「風雲！たけし城」の世界配信に伴い、 たけし城のフォーマット販売が好調だったものの、 その他のロイヤリティ収入が振るわず、減収減益。
メディア事業・eスポーツ	2,406	△1,820	602	△346	4~6月分。7月以降はテレビ部門に移管。
その他営業費用			△956	+135	
部門計	12,198	△2,480	3,143	+526	事業部門全体では、減収増益。

(単位：百万円)

	売上高			営業利益			主な増減要因
	2022年度 2Q(4-9月)	2023年度 2Q(4-9月)	前年差	2022年度 2Q(4-9月)	2023年度 2Q(4-9月)	前年差	
TBSラジオ	4,179	3,982	△197	199	△32	△231	イベント収入は好調ながら、タイム・スポットともに減少し、減収減益。
BS-TBS	8,501	8,471	△30	1,474	1,460	△14	放送収入では、タイム・スポット収入およびショッピングが好調だったものの、事業収入の減少により、減収減益。
TBS グロウディア	12,451	15,032	+2,580	△265	550	+815	DVD収入の増加に加え、展覧会事業とTVショッピングなどの一部がTBSテレビから移管されたこともあり、増収増益。
日音	4,015	4,425	+409	289	383	+93	業務代行収入や邦楽・洋楽収入の増加などにより、増収増益。
TCエンタ テインメント	3,774	5,007	+1,233	326	600	+273	DVD販売の増加により、増収増益。

雑貨小売販売事業は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う社会・経済活動の正常化、および、猛暑に対応した商材が伸長したことで、増収。通信販売事業は、受注の減少により減収。ビューティ&ウェルネス事業は、化粧品の国内・海外販売が好調で増収。グループ全体では、増収増益。

(単位：百万円)

連結	2022年度 2Q (4-9月)	2023年度 2Q (4-9月)	前年差
売上高	32,511	35,023	+2,512
営業利益	2,338	2,598	+260

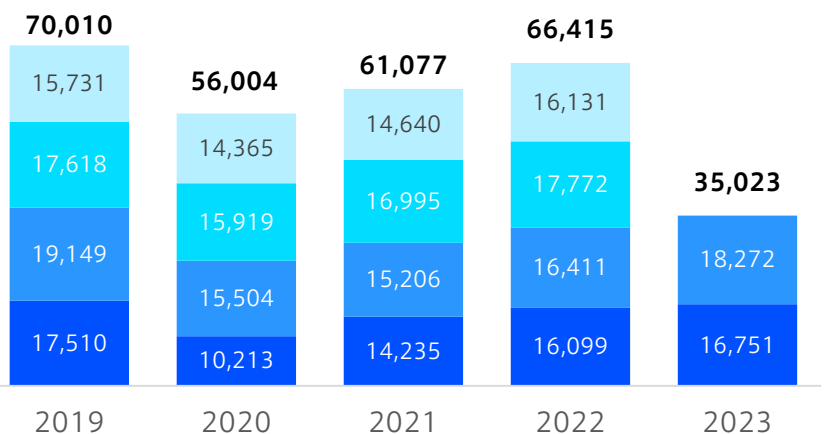
(単位：百万円)

事業別	売上高(※)		
	2022年度 2Q (4-9月)	2023年度 2Q (4-9月)	前年差
雑貨小売販売事業	17,469	19,607	+2,137
通信販売事業	7,804	7,523	△281
ビューティ&ウェルネス事業	7,404	8,073	+668
本社およびその他	△167	△179	△11
計	32,511	35,023	+2,512

※事業別の売上高は管理会計上の数値

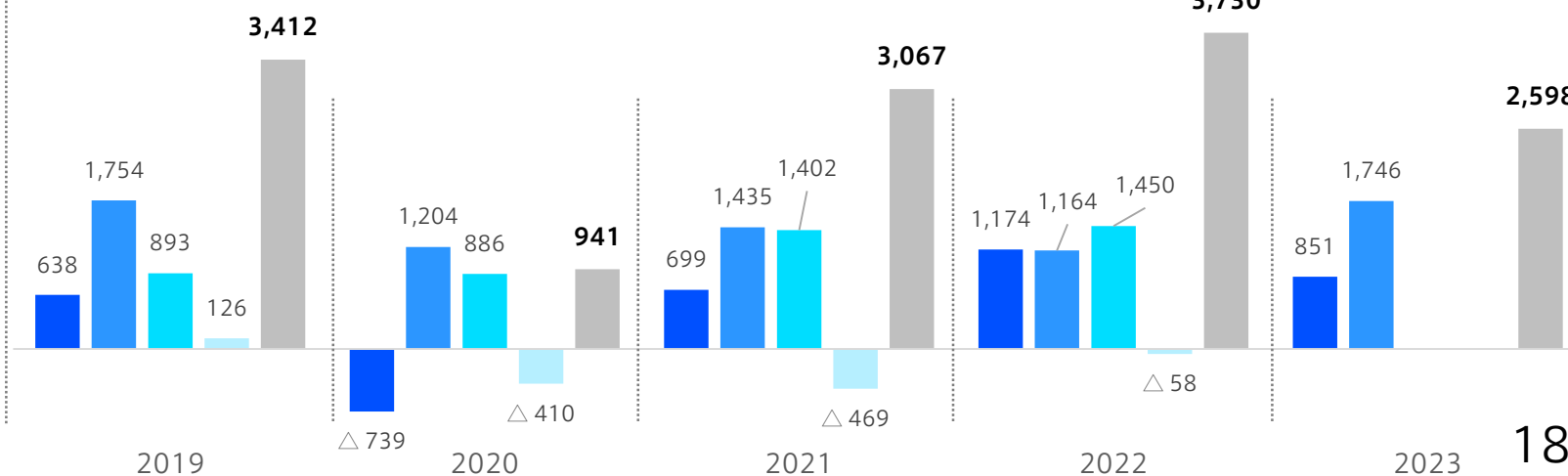
売上高

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q



営業利益

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q ■ 合計



※やる気スイッチグループは **国際会計基準** (以下、IFRS) を適用しており、連結上ではIFRSを日本基準に組み替えた上で、6~8月の3か月分を取り込んでおります

個別指導塾事業及び幼児教育事業は、教室数及び生徒数増加に伴い、両事業共に増収。グループ全体では、事業の順調な成長による増収の一方、TBSグループ入りに伴うトランザクション関連費用(※1)が856百万円発生した事により、減益。なお、トランザクション関連費用(※1)を除外した営業利益は1,142百万円。

(単位：百万円)

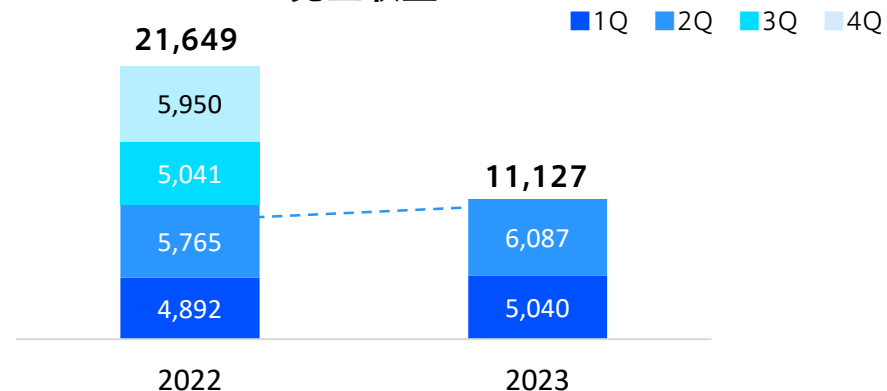
連結	2022年度 2Q (3-8月)	2023年度 2Q (3-8月)	前年差
売上収益	10,658	11,127	+469
営業利益	1,061	286	△774

(単位：百万円)

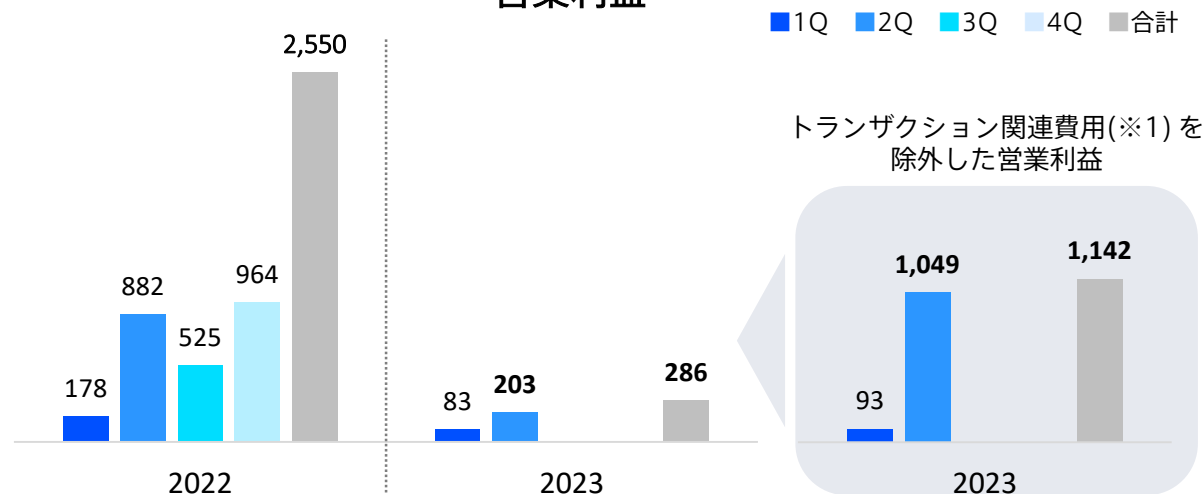
事業別	売上収益 (※2)		
	2022年度 2Q (3-8月)	2023年度 2Q (3-8月)	前年差
個別指導塾事業	5,214	5,296	+82
幼児教育事業	5,443	5,831	+387
計	10,658	11,127	+469

(※2) 事業別の売上収益は管理会計上の数値

売上収益



営業利益



(※1) やる気スイッチグループがTBSグループ入りに伴い発生した費用 (IFRS) を指し、連結上では日本基準に組み替えて一部を特別損失に計上しております

2023年度 第2四半期決算ハイライト

2023年度 業績見通し

株主還元

経営計画の進捗

今後の重点施策

参考資料

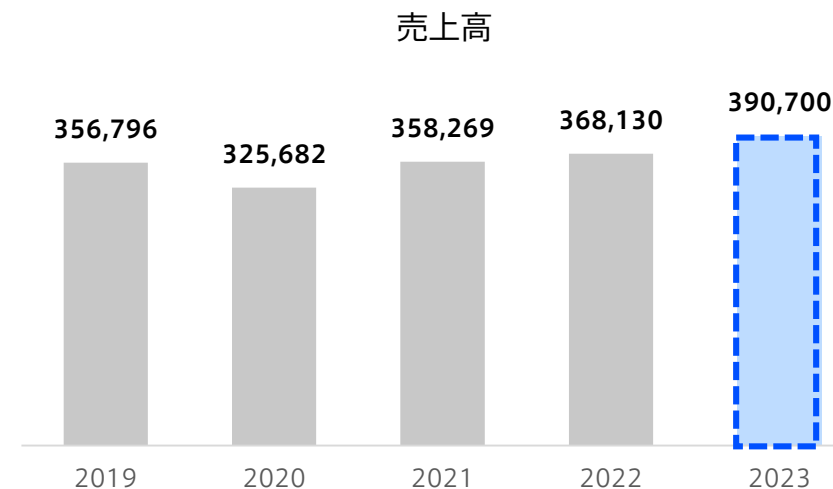
2023年度 連結業績予想の修正

売上高は、TBSテレビでのスポット市況低迷による放送収入の下振れを、やる気スイッチグループHDの新規連結などでカバーし、前回発表予想とほぼ同水準となる見込み。
 営業利益、経常利益は、放送収入の減収などの影響で、下方修正。
 親会社株主に帰属する当期純利益は、政策保有株式の売却による特別利益の計上で、上方修正。

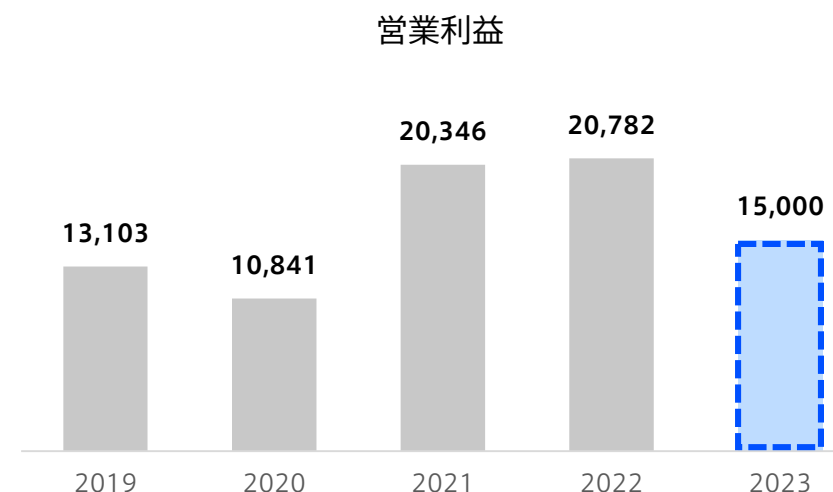
(単位：百万円)

連結	前年実績 (2022年度)	前回予想 (5/12発表)	修正予想	前回予想 からの増減
売上高	368,130	390,000	390,700	+700
営業利益	20,782	26,000	15,000	△11,000
経常利益	35,086	39,000	26,800	△12,200
親会社株主に帰属する 当期純利益	35,182	24,500	36,200	+11,700

(単位：百万円)



セグメント別予想	売上高			営業利益		
	前年実績 (2022年度)	修正予想	増減	前年実績 (2022年度)	修正予想	増減
メディア・コンテンツ	285,230	284,900	△330	10,911	3,900	△7,011
ライフスタイル	66,391	89,200	+22,808	3,064	4,600	+1,535
不動産・その他	16,508	16,600	+91	6,798	6,500	△298
調整額	—	—	—	8	—	△8
連結	368,130	390,700	+22,569	20,782	15,000	△5,782

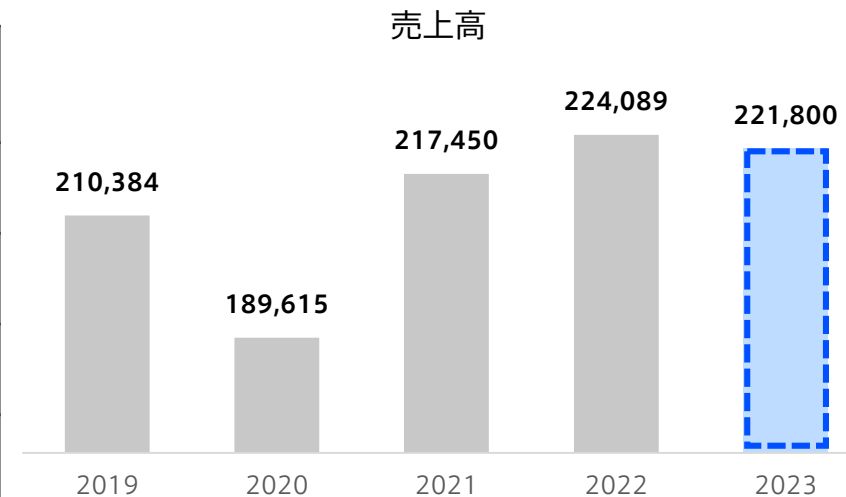


2023年度 TBSテレビ業績予想の修正

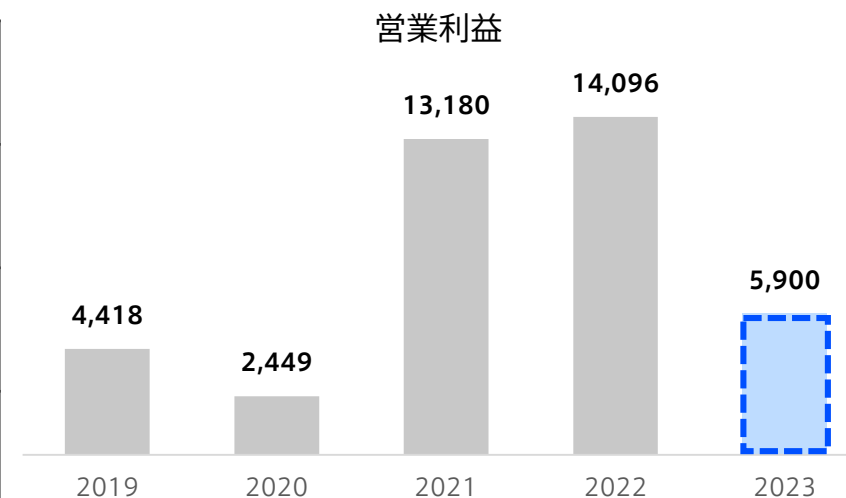
▶ スポット収入の下振れが下期も継続すると予想されるため、通期の業績予想（売上高、営業利益、経常利益、当期純利益）を下方修正。

(単位：百万円)

TBSテレビ	前年実績 (2022年度)	前回予想 (5/12発表)	修正予想	前回予想 からの増減
売上高	224,089	236,600	221,800	△14,800
営業利益	14,096	14,700	5,900	△8,800
経常利益	16,818	17,100	8,600	△8,500
当期純利益	10,722	11,100	6,400	△4,700



	2023年度2Q 累計実績	通期予想 (前回予想との比較)
タイム	+1.1%	+1.9% → +1.7%
スポット	△9.0%	+3.7% → △5.7%
番組原価 (百万円)	49,365	97,400 → 98,000



2023年度 第2四半期決算ハイライト

2023年度 業績見通し

株主還元

経営計画の進捗

今後の重点施策

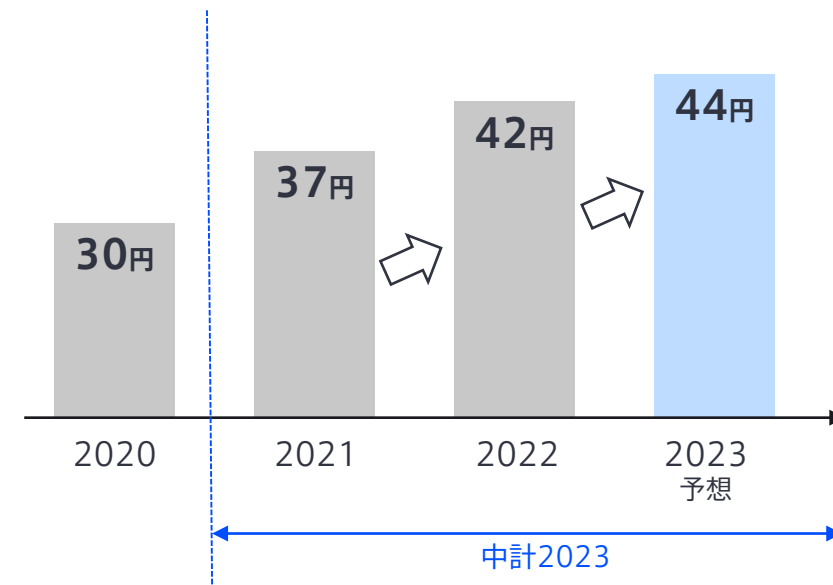
参考資料

基本方針	株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と位置づけ、連結ベースの配当性向30%を目処としつつ、安定的かつ継続的な配当を基本とする。業績伸長などの際には、特別配当などにより還元の充実に努める。自己株式取得は、これまで通り機動的に検討する。
-------------	---

中計2023 配当方針	1株当たり30円を下限とする。 ただし、2期連続で当期利益を生まなかった場合は、下限配当金を見直すことがある。
------------------------	--

	1株当たり配当金 (円)			配当性向 (%)	特殊な要因 (★) の影響を除いた配当性向 (%)
	第2四半期末	期末	年間		
2017年度	15	15	30	30.5	30.5
2018年度	16	17	33	22.9	31.7
2019年度	13	17	30	17.3	43.0
2020年度	15	15	30	18.3	59.5
2021年度	15	22	37	19.7	30.9
2022年度	20	22	42	20.1	30.3
2023年度 (予想)	22	22	44	19.9	37.8

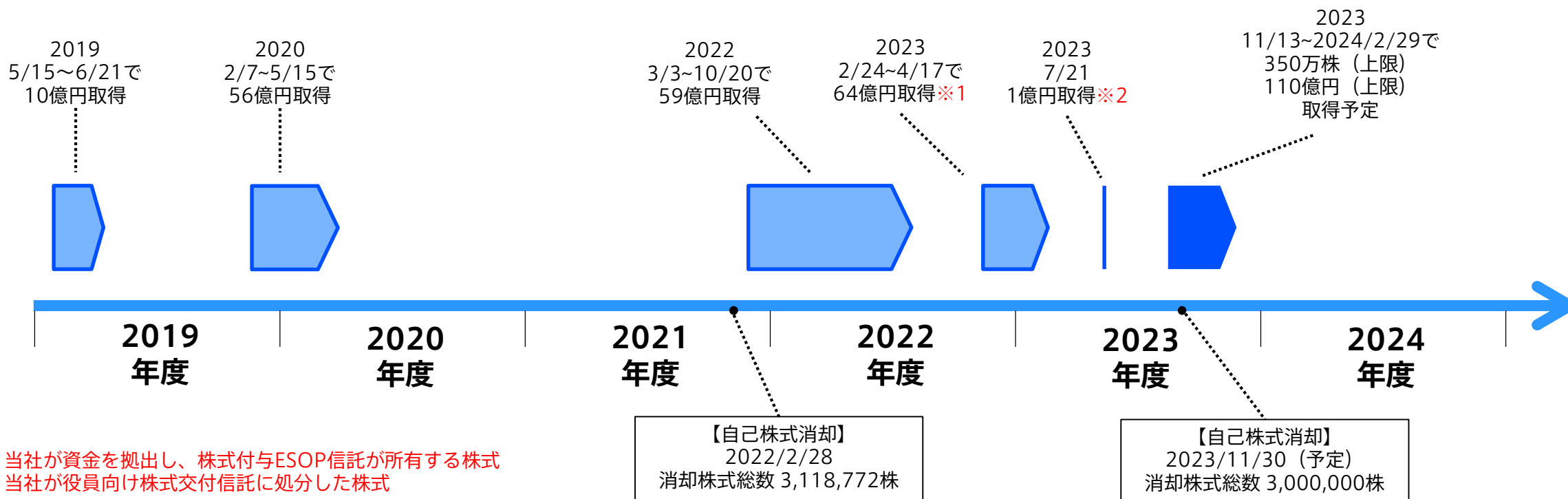
(★) 中長期の収益拡大を目指す成長領域への投資の源泉として売却した投資有価証券から生じる売却損益は、配当額を決定する上では「特殊な要因」と位置付けております。



▶ 2023年度は2円増配の44円を予想。引き続き、安定的かつ継続的な配当を実施。

▶ 株主還元および資本効率の向上を図るため、自己株式を取得。

取得対象株式	普通株式
取得株式の総数	3,500,000株（上限） ※発行済株式総数の2.08%
取得価額の総額	11,000,000,000円（上限）
取得期間	2023年11月13日～2024年2月29日



※1 当社が資金を拠出し、株式付与ESOP信託が所有する株式

※2 当社が役員向け株式交付信託に処分した株式

2023年度 第2四半期決算ハイライト

2023年度 業績見通し

株主還元

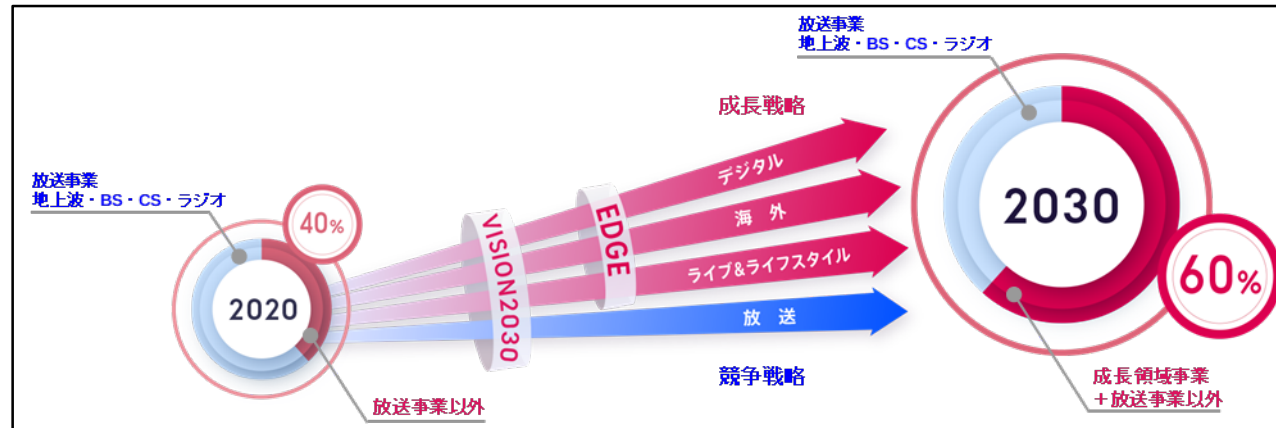
経営計画の進捗

今後の重点施策

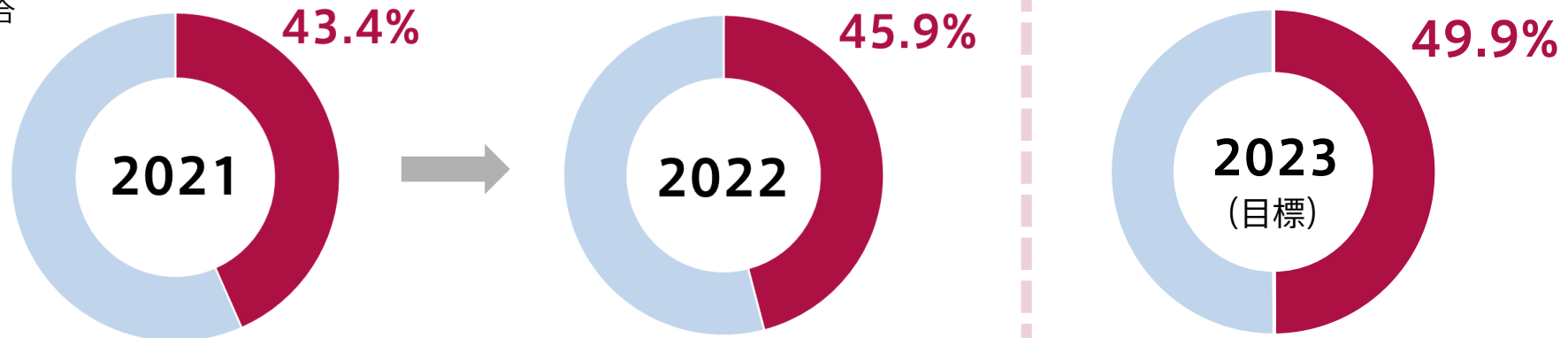
参考資料

放送事業と放送事業以外の収入割合

TBSグループ VISION2030



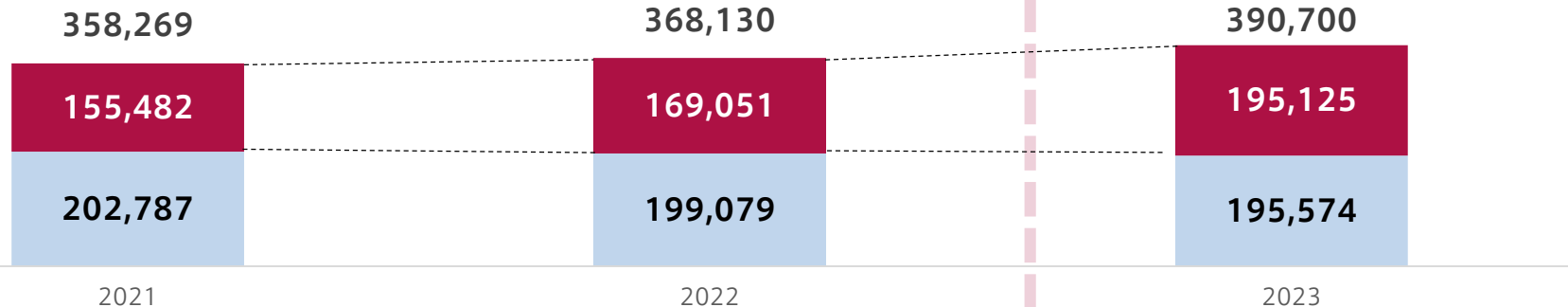
放送事業以外の収入割合

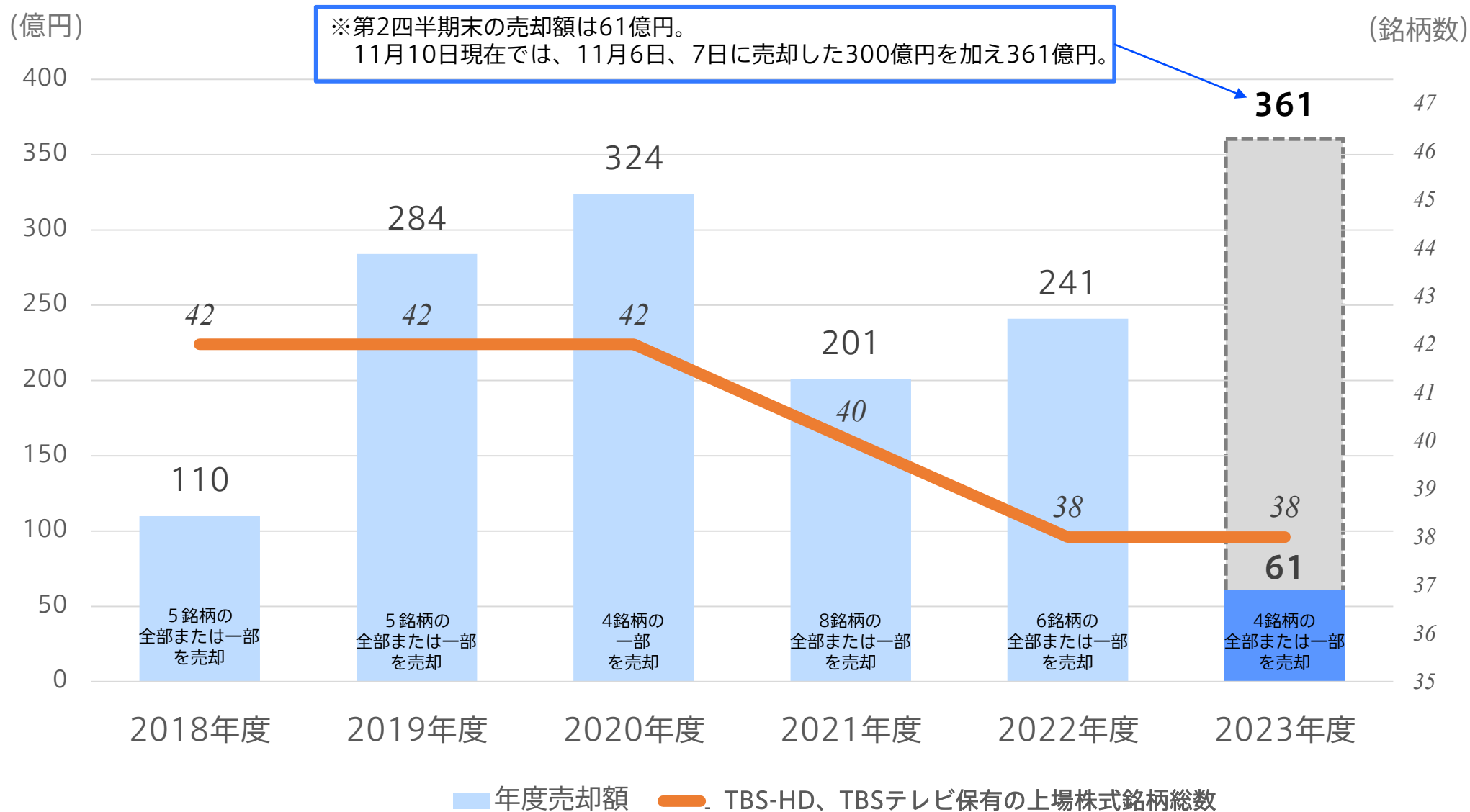


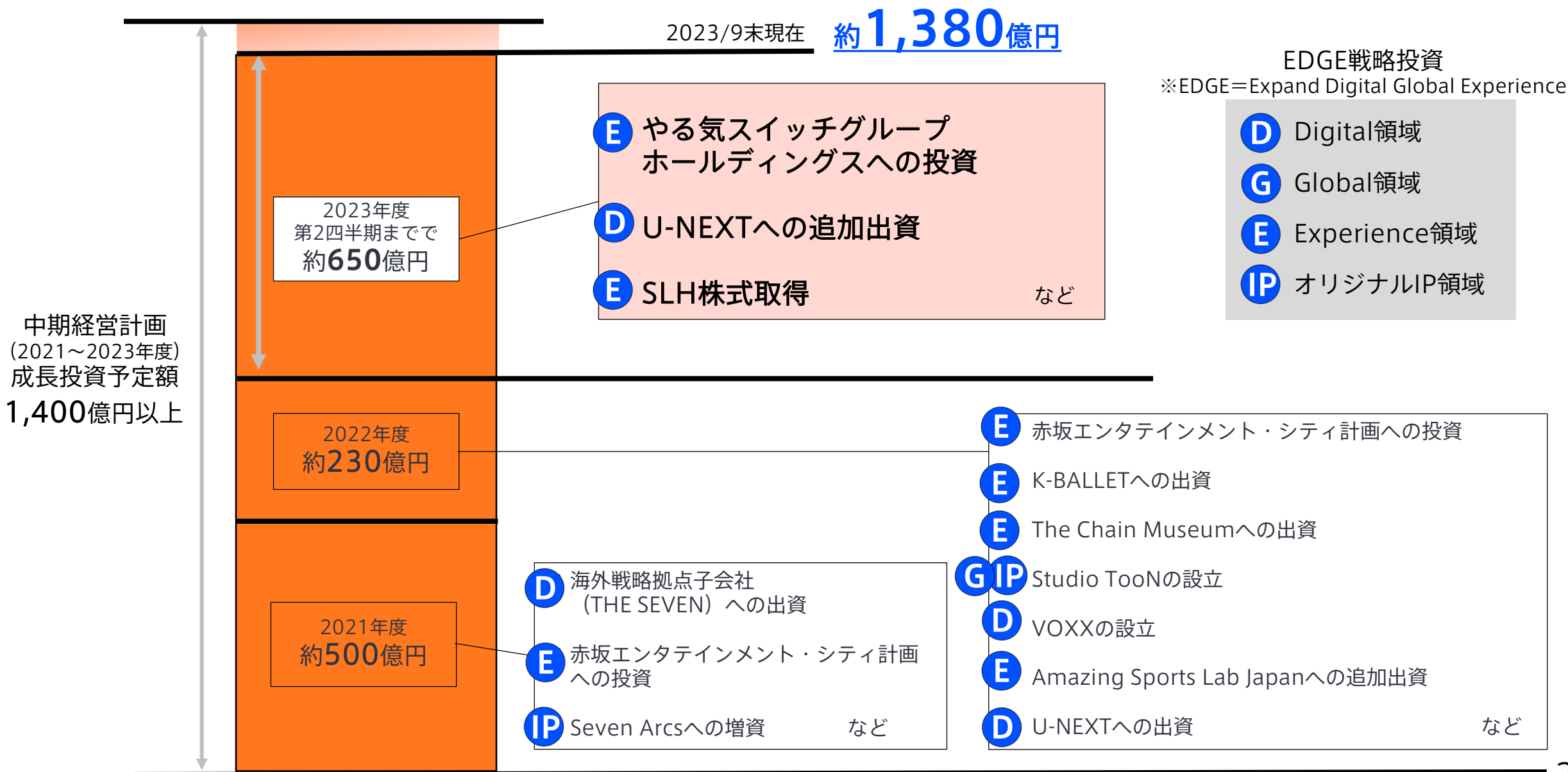
放送事業以外の収入

放送事業収入

単位：百万円







2023年度 第2四半期決算ハイライト

2023年度 業績見通し

株主還元

経営計画の進捗

今後の重点施策

参考資料



□ Netflixシリーズ

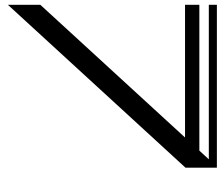
「今際の国のアリス」シーズン3制作決定！

シーズン1は世界70以上、シーズン2は世界90以上の国と地域で人気TOP10入りを果たしたこのドラマシリーズの、シーズン3をプロデュース

□ Netflixからの配信で、さらに3作品が制作決定！

2024～25年にかけて制作、順次配信へ

□ VFXの受注も順調に伸び、収益の柱へ



THE SEVEN

THE SEVEN

2025年度は **売上高100億円** に！



有料会員数 **400**万人突破

有料会員数は、今年7月のParaviとのサービス統合を受けて単純合算で386万人に達し、以降も「VIVANT」などドラマやバラエティ、また「アジア大会中国・杭州」などイベント型のスポーツコンテンツも好調に推移し、9月30日時点で有料会員数**400**万人を突破。

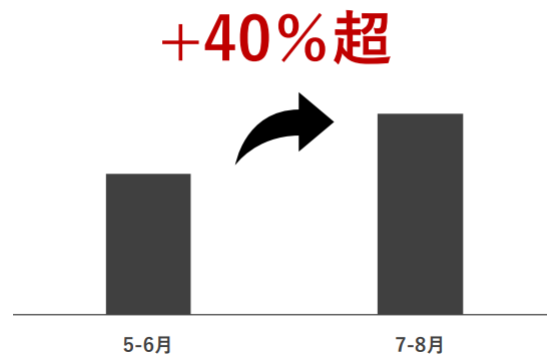
ユーザー獲得数 大幅増加

サービス開始（無料体験開始）ユーザー数は、Paravi統合前後の2ヵ月間（2023年5月-6月対比2023年7月-8月）で**40%**超増加。地上波と連動したヒットコンテンツの充実や、地上波でのプロモーションなど、Paraviの統合による各種施策も大きく貢献。

- 2023年6月末にTBSはU-NEXT株式を追加取得し**20%**を保有、持分法適用関連会社化。
- 協業シナジーの創出が相互確認できた場合、さらなる連携強化を図るため、TBSは追加出資によりTBSの議決権比率を**30%**まで高めることが可能。



サービス開始ユーザー数



TBS・テレビ東京がランキング上位を寡占

- ✓ ドラマの視聴ランキング上位作品の多くがTBS・テレビ東京に
- ✓ ドラマ上位に占める国内ドラマの割合が大幅に拡大（従来は韓国・アジアドラマが圧倒的）

順位	ドラマ視聴者数ランキング(7月~8月)	制作国	放送局
1	VIVANT	日本	TBS
2	トリリオンゲーム	日本	TBS
3	半沢直樹(2020)	日本	TBS
4	半沢直樹(2013)	日本	TBS
5	ウソ婚	日本	カンテレ
6	18/40～ふたりなら夢も恋も～	日本	TBS
7	王様に捧ぐ薬指	日本	TBS
8	無駄なウソ－誰にも言えない秘密－	韓国	-
9	赤い袖先	韓国	-
10	女神降臨	韓国	-
11	AND JUST LIKE THAT... シーズン2 / セックス・アンド・ザ・シティ新章	アメリカ	-
12	ラストマン－全盲の捜査官－	日本	TBS
13	初恋、ざらり	日本	テレビ東京
14	ブラックペアン	日本	TBS
15	みなと商事コインランドリー2	日本	テレビ東京

出典：(株)USEN-NEXT HOLDINGS 2023年度8月期決算説明資料

TVerの状況

- 月間動画再生数 **3.9億回**を突破
- アプリ累計DL数 **6,000万DL**を達成
- 配信番組数 **700番組以上** (全局総計)
(※レギュラー番組)

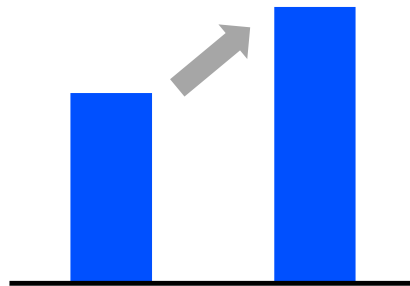
TVerは動画配信プラットフォームとして
着実に成長中



出典：TVer NEWS RELEASE (2023.9.21)

TBS(2023年度上期)
TVer収入前年比

+44.8%



2022(上期) 2023(上期)

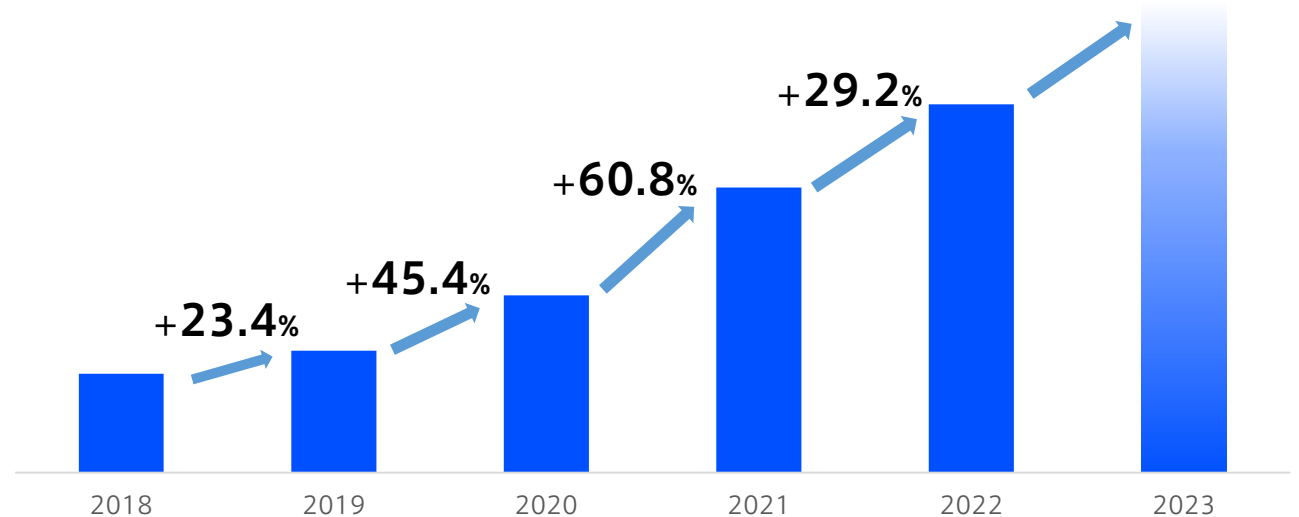
TBS(2023年度上期)
業種別ランキング

1	化粧品・トイレタリー
2	エンターテインメント・趣味
3	外食・サービス
4	酒・飲料
5	食品
6	精密機器・事務機
7	医薬品
8	情報・通信・放送
9	不動産・建設
10	金融



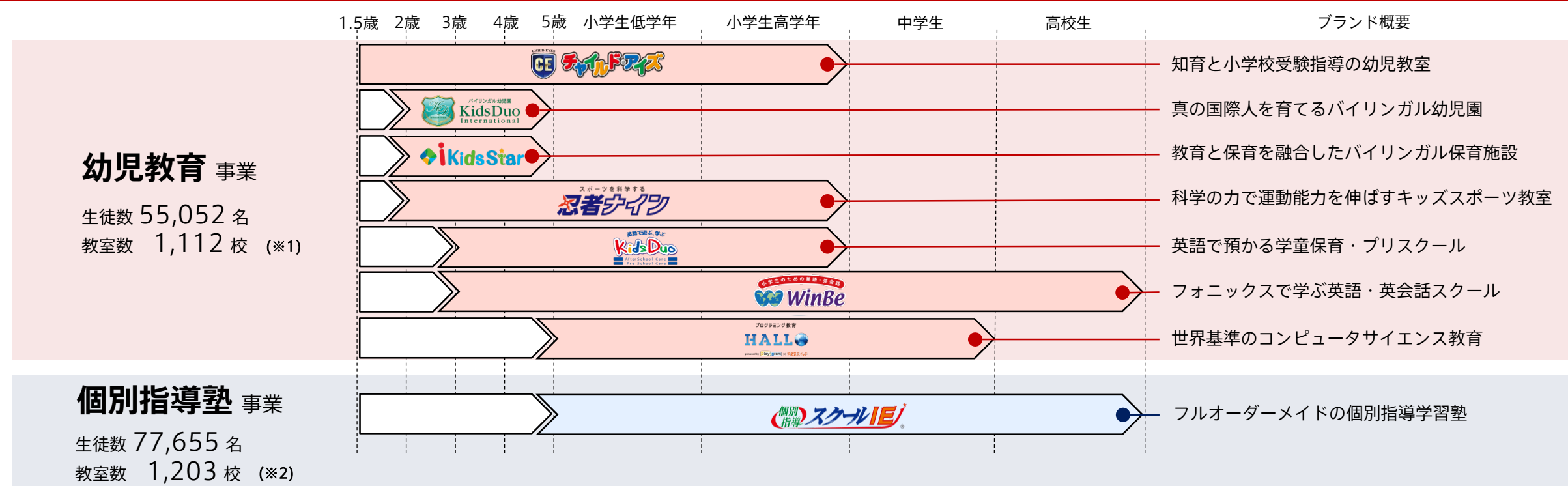
7月期日曜劇場「VIVANT」は、
TVer・TBS FREEでの累計再生回数が
TBSの連続ドラマ史上初の**5,000万回**を突破。
1週間の平均再生回数も**364万回**で
TBSでは歴代トップ。

TBSのTVer収入の推移



Vision

やる気スイッチという一生の財産を、すべての子どもたちへ。



(※1)生徒数及び教室数は直営・FC・忍者ナイン(ラボ)のすべての合計値を表記 (※2)生徒数及び教室数は直営・FC・台湾のすべての合計値を表記 注1. 生徒数及び教室数は2023年8月末時点の集計値

シナジー創出に向けた取り組みを実施

下記の3分野において、それぞれワーキンググループを組成し、シナジー創出および両社の更なるバリューアップに向けた取り組みを実施

映像教材
コンテンツ開発

体験型教育
コンテンツ開発

メディア
ミックス

学習塾・予備校部門の売上高ランキング



1位
2位
3位
4位
5位

やる気スイッチグループホールディングス

明光ネットワークジャパン
リソー教育
学研ホールディングス
早稲田アカデミー

TBS アニメ

コンテンツ領域拡大のため、アニメ事業を強化
日曜夕方に「全国ネットアニメ枠」がスタート

放送中

「七つの大罪 黙示録の四騎士」



©鈴木央・講談社 / 「七つの大罪 黙示録の四騎士」製作委員会

2024年放送予定

「戦隊大失格」



©春場ねぎ・講談社 / 「戦隊大失格」製作委員会

TBS GAMES

オリジナルIP開発の推進、拡張戦略「EDGE」を
推し進める取り組みの一環として、ゲーム事業に本格参入



伝説のバラエティ番組「風雲! たけし城」公式ゲーム
2023年9月1日より「Roblox」で正式ローンチ



共通IDサービス「TBS ID」が開始

TBSグループが提供する
様々なコンテンツやサービスを横断して利用可能

タッチポイント横断の共通IDサービス

TBS ID



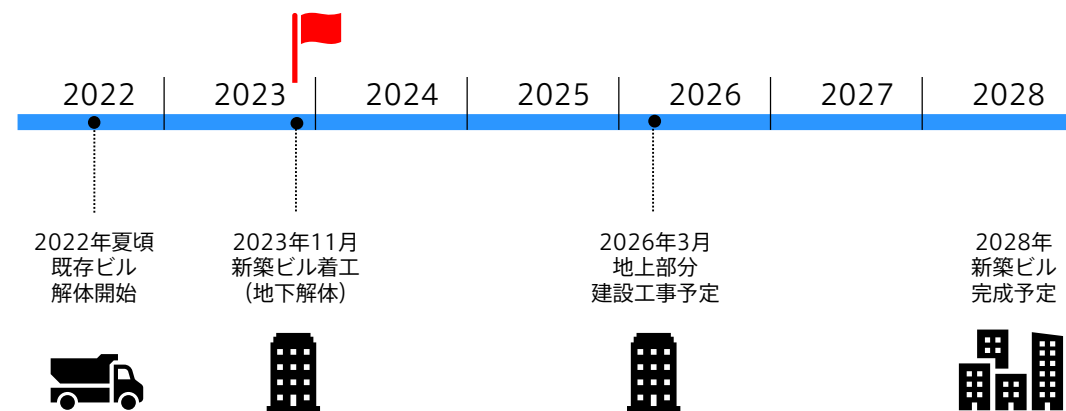
TBS TICKETS → TBS ID

第一段として、会員向けチケット販売サービス「TBSチケット」に導入。

「TBSチケット」のアカウントを持つ会員は、2023年10月25日（水）以降、「TBS ID」会員へ移行・統合



2028年の竣工を目指して、解体工事が予定通り進捗



※青字部分は2028年竣工予定の再開発エリア（写真・イラストはイメージです。）

●今後の主なラインアップ

2023/11/10 現在

	期間	タイトル	備考
映画	2024/3/8公開	マイホームヒーロー	配給：ワーナーブラザーズ
	2024/6/21公開	九十歳、何がめでたい	配給：松竹
	2024年公開	片思い世界	配給：東京テアトル リトルモア
興行	2022/7/8～ロングラン	舞台『ハリー・ポッターと呪いの子』	TBS赤坂ACTシアター
	2023/10/1～11/12	レイディマクベス	よみうり大手町ホール
	2023/11/15～26	ロスメルスホルム	新国立劇場・小劇場
	2023/11/25～12/10	熊川哲也 K-BALLET TOKYO Winter Tour 2023 『くるみ割り人形』	Bunkamuraオーチャードホール
	2023/11/28～12/17	舞台『ジャンヌ・ダルク』	東京建物 Brillia HALL
	2024/2/6～25	舞台『中村仲蔵 ～歌舞伎王国 下剋上異聞～』	東京建物 Brillia HALL
	2024/2/17	スナックJUJU 東京ドーム店	東京ドーム
	2024/4/10～21	マシュー・ボーン「ロミオ+ジュリエット」	東急シアターオーブ
	2024/4/23～24	井上芳雄 by MYSELF × Greenville Concert2024	東京ガーデンシアター
催事	2023/9/20～12/11	イヴ・サンローラン展 時を超えるスタイル	国立新美術館
	2023/10/3～2024/1/28	キュビズム展 美の革命	国立西洋美術館
	2024/3/16～2024/6/16	大哺乳類展3	国立科学博物館

PLAZASTYLE

「Nice to meet me!」プロジェクトは、現代を生きるあらゆる世代の女性たちへ
“どんな瞬間も自分らしく過ごしてもらいたい”というメッセージを込めて、
その時々のあるところとからだに寄り添うアイデアを共に考え、提案しています。

第二弾アイテムとして、PLAZAオリジナルのサニタリーショーツ

『SaniBuddy (サニバディ)』全3種を開発。

「これで、いっか。」と選択するしかなかったサニタリーショーツに、

「これ“が”、いい！」という選択肢を与えたい！というプロジェクトメンバーの
想いのもと、開発されたショーツです。



あなたの街にPLAZAがやってくる！

PLAZA
LUMINE
YURAKUCHO
OPEN
2023.9.7 THU.

PLAZA
HANEDA Airport
Terminal2
**RENEWAL
OPEN**
2023.10.26 THU.

PLAZA
UMEDA HEP FIVE
**RENEWAL
OPEN**
2023.10.27 FRI.

PLAZA
IKEBUKURO
Sunshine City
alpa
OPEN
2023.11.17 THU.

PLAZA
NEWSSTAND

2023.10.6 FRI. OPEN at AKASAKA



PLAZAの“BEST”と“ONLY”であふれる新店舗

「PLAZA NEWSSTAND 赤坂店」が誕生。

店内には、選びぬかれたPLAZAの“the BEST”なアイテムが並び、
期間・店舗限定の“the ONLY”なPOP UPイベントを定期開催します。



2023年度 第2四半期決算ハイライト

2023年度 業績見通し

株主還元

経営計画の進捗

今後の重点施策

参考資料

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2023年 3月末	2023年 9月末	比較		2023年 3月末	2023年 9月末	比較
流動 資産	209,058	156,819	△52,239	流動 負債	104,059	102,687	△1,372
				固定 負債	167,621	220,066	+52,444
				負債 合計	271,681	322,754	+51,072
固定 資産	858,807	1,040,654	+181,847	純資産 合計	796,184	874,719	+78,535
				自己 資本	780,667	863,271	+82,604
				非支配 株主持分	15,517	11,447	△4,069
資産 合計	1,067,865	1,197,473	+129,608	負債 純資産 合計	1,067,865	1,197,473	+129,608

四半期末有利子負債残高： 239億円 （前期末比 +39億円）

※リース債務は除く

(単位：百万円)

	2022年度 上期 (4-9月)	2023年度 上期 (4-9月)	前年差
営業活動による キャッシュ・フロー	8,670	12,577	+3,907
投資活動による キャッシュ・フロー	△15,988	△ 50,264	△34,275
財務活動による キャッシュ・フロー	△9,510	△ 15,917	△6,407
現金及び現金同等物の 増減額	△16,654	△ 53,476	△36,821
現金及び現金同等物の 期首残高	98,707	97,589	△1,118
現金及び現金同等物の 期末残高	82,052	44,112	△37,940

新ファミリーコア視聴率（4～49歳）

(※ [] 内は前年同期差 単位：%)

	全日	ゴールデン	プライム	ノンプライム
TBS	③1.5[0.0]	②3.0 [0.0]	②2.9 [0.0]	③1.1 [0.0]
日本テレビ	①2.6	①4.6	①4.3	①2.1
テレビ朝日	④1.1	④2.1	④2.2	④0.8
テレビ東京	⑥0.5	⑤1.4	⑤1.2	⑥0.3
フジテレビ	②1.7	②3.0	②2.9	②1.3
NHK	⑤0.7	⑤1.4	⑤1.2	⑤0.5
PUT	9.1[△0.7]	17.1 [△1.2]	16.1[△1.3]	7.1 [△0.6]

(2023/4/3 ~ 2023/10/1 : 週ベース)

(ビデオリサーチ調べ：関東地区)

(※ [] 内は前年同期差 単位：%)

	全 日	ゴールデン	プライム	ノンプライム
T B S	④2.6 [△0.2]	④4.0 [△0.1]	④4.0 [△0.1]	④2.2 [△0.2]
日本テレビ	①3.4	①5.5	①5.1	①2.9
テレビ朝日	①3.4	②5.0	①5.1	①2.9
テレビ東京	⑥1.2	⑥3.0	⑥2.6	⑥0.7
フジテレビ	⑤2.3	⑤3.6	⑤3.6	⑤1.9
N H K	③2.9	③4.9	③4.2	③2.5
P U T	18.8 [△0.9]	30.9 [△1.5]	28.9 [△1.5]	15.9 [△0.8]

(2023/4/3 ~ 2023/10/1 : 週ベース)

(ビデオリサーチ調べ：関東地区)

TBSテレビ タイム・スポット収入 対前年比

(単位：百万円)

	タイム			スポット				備 考
	2023年度	前年差	増減率	2023年度	前年差	増減率	地区投下 (推計)	
4月	7,229	+193	+2.7%	7,201	△179	△2.4%	△5.0%	タイムは、レギュラーセールス好調。
5月	6,380	△179	△2.7%	6,488	△711	△9.9%	△8.3%	
6月	6,055	+86	+1.4%	5,951	△976	△14.1%	△9.5%	スポットは、市況が落ち込む中、好調だった昨年の反動で減収。
7月	6,388	△2,153	△25.2%	6,270	△326	△5.0%	△11.9%	タイムは、世界陸上オレゴン大会（2022年）の反動で減収。
8月	7,563	+1,609	+27.0%	5,004	△664	△11.7%	△8.9%	タイムは、世界陸上ブダペスト大会（2023年）で増収。
9月	6,941	+893	+14.8%	5,289	△701	△11.7%	△8.4%	タイムは、アジア大会中国・杭州（2023年9月分）で増収。
10月								
11月								
12月								
1月								
2月								
3月								
1Q	19,665	+99	+0.5%	19,641	△1,867	△8.7%	△7.5%	
2Q	20,893	+349	+1.7%	16,565	△1,691	△9.3%	△9.8%	
3Q								
4Q								
通期	40,559	+449	+1.1%	36,206	△3,559	△9.0%	△8.6%	

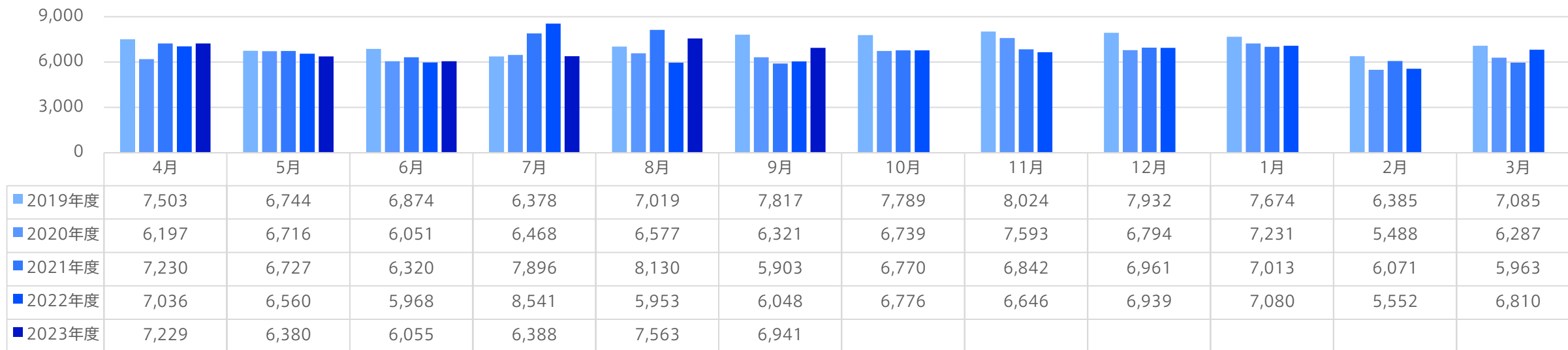
●スポット5局シェア（推計） 四半期推移

2019年度 19.3% (累計)				2020年度 19.7% (累計)				2021年度 20.1% (累計)				2022年度 20.6% (累計)				2023年度 20.8% (累計)			
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
20.2	19.2	19.0	18.9	20.5	20.2	19.4	19.3	20.4	20.3	19.7	20.0	21.2	20.6	20.9	19.6	20.9	20.6		

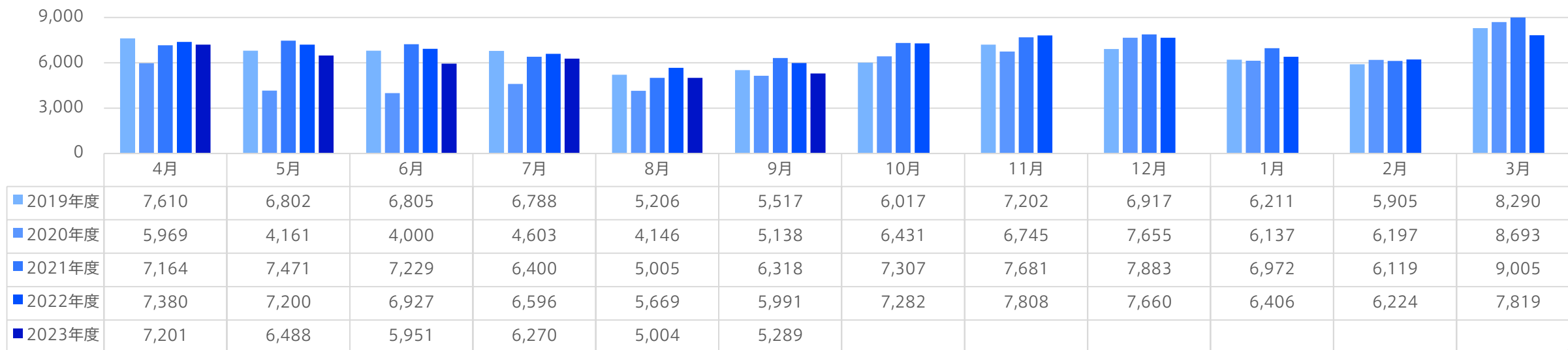
TBSテレビ タイム・スポット収入 経年推移

(単位：百万円)

●タイム収入



●スポット収入



(単位：%)

	2023年度 上期 (4-9月)	増減率	シェア	前年同期	増減率	シェア
1	情報・通信・放送	△8.6	16.9	情報・通信・放送	△7.9	16.9
2	酒・飲料	△6.8	11.9	酒・飲料	△6.8	11.6
3	食品	△7.5	8.5	外食・サービス	+44.2	10.1
4	外食・サービス	△26.4	8.1	食品	△2.8	8.4
5	医薬品	△3.9	7.1	医薬品	△1.6	6.8
6	交通・レジャー	+23.9	6.2	金融	+5.6	5.1
7	化粧品・トイレットリー	+12.5	5.7	化粧品・トイレットリー	△34.2	4.6
8	金融	△9.0	5.1	交通・レジャー	+18.4	4.6
9	エンタテインメント・趣味	+10.8	4.9	精密機器・事務機器	+20.2	4.4
10	不動産・建設	△15.3	4.1	不動産・建設	+4.3	4.4

※ 順位は金額順

メディア・コンテンツ/ 不動産・その他 (1社)

(株) TBSテレビ

メディア・コンテンツ (13社)

(株) TBSラジオ

(株) BS-TBS

(株) CS-TBS

(株) TBSスパークル

(株) TBSグローディア

(株) TBSアクト

(株) Seven Arcs

TCエンタテインメント (株)

TBS International, Inc.

(株) TBSメディア総合研究所

(株) 日音

(株) マンガボックス

(株) THE SEVEN

ライフスタイル(7社)

(株) スタイルングライフ・ホールディングス

(株) CPコスメティクス

(株) ライトアップショッピングクラブ

(株) やる気スイッチグループホールディングス

(株) やる気スイッチグループ

(株) やる気スイッチキャリア

(株) YPスイッチ

不動産・その他(5社)

赤坂熱供給 (株)

(株) TBS企画

(株) TBSサンワーク

(株) TBSヘクサ

(株) 緑山スタジオ・シティ

持分法適用(6社)

(株) リトプラ

(株) WOWOW

碧芯珞(上海)化粧品有限公司 / BCL China Inc.

(株) Amazing Sports Lab Japan

(株) YGC

(株) U-NEXT